

平成 29 年「俱会一处 ～ともに生き、ともに祈る～」ご報告

吹く風も徐々に夏めいて参りました。この度は貴重なご仏縁を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

本年も6月10日、時の記念日でもあります当日は、初夏の暑さを早く感じた清々しい空気の中、皆様それぞれ心静かに集まり頂けた事と思います。雅楽の調べの中、お香を焚いて仏さまをお迎えし、今回は30余名の僧侶と、ご参列頂いた80名近い皆様と共に掌を合わせ、ご一緒に法要を勤めさせて頂きました。

浄土宗の教えは、ご本尊の阿弥陀仏に対し心から祈りをお伝えする事で、極楽浄土へと旅立たれた方々へ、必ず皆様の祈りをお届け下さる仏さままでございます。今年法要の会場として行われました三階仏間は、まさしくその極楽浄土を表現した荘厳の本堂でございました。その本堂の中、皆様からお預かり頂きましたお一人お一人のお名前を、丁寧に回向させて頂き、仏さまにお伝えし、極楽浄土へとお届けさせて頂きました。先立たれた方々の元へ必ず届いた事でしょう。

阿弥陀仏は皆様の心からの祈りを必ず受け止めて下さる仏さまです。ふと心の中に先立たれた方の事を思い描いた時には、心の中で手をお合わせ頂ければ尊いご供養となります。

明年も追悼法要を行う予定でございますので、ご参列・ご回向のご希望がありましたらお気軽にご連絡頂ければと存じます。

今年も暑さ厳しい夏となるようです、お身体大切にお過ごし頂きますよう、ご挨拶申し上げます。

合掌

平成 29 年 6 月 13 日

浄土宗東京教区教宣師会

